



私たちは、お客さまと銀行の関係を  
こうありたいと考えます。



## オリックス銀行

東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル 〒105-0014  
TEL : 03-6722-3600(代) <http://www.orixbank.co.jp/>  
(発行 : 2011年12月)



## オリックス銀行

ミニ・ディスクロージャー誌 2011年9月期(中間期)

## ごあいさつ



オリックス銀行株式会社  
代表取締役社長

潮 明夫

### 目次

ごあいさつ	1
オリックス銀行の特徴	2
トピックス	3-5
Q&A業績ハイライトについて	
お答えします	6-9
財務諸表	10
主要業務のご紹介	11-12
オリックスグループの社会貢献活動	13
会社概要	14

平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

2012年3月期中間期の業績や財務状況、トピックスなどについてまとめたミニ・ディスクロージャー誌「相思相愛」を作成いたしました。

本誌を通じ、オリックス銀行について、一層ご理解をいただければ幸いです。

### 2012年3月期中間期(2011年9月期)の業績

わが国の経済は東日本大震災後の復興需要に支えられて2011年下半年以降、回復軌道を辿る展開が予想されています。しかし、欧州金融市場の混乱を受けた世界経済の下振れ、円高進行、原発停止の長期化に伴う電力供給抑制などのリスクを抱えております。

東日本大震災以降の企業の資金繰りは大企業を中心に、手元流動性を高める水準に維持するなど総じて落ち着いていますが、一部の中小企業や家計においては厳しさを増しており、先行き不透明感を強めています。また、国内の銀行においては、国内企業・家計の借入需要が低迷しており、競争激化による貸出金利の低下が進行しました。

このような事業環境のもと、オリックス銀行では、住宅ローン事業をはじめ、特定の分野において強みを発揮し、より質の高い金融商品・サービスの提供に努めてまいりました。

その結果、経常収益164億円(前年同期比4%増加)、中間純利益35億円(同62%増加)の業績を収めることができました。また、譲渡性預金を含む預金残高は1兆314億円(前期末比1%増加)となりました。

### 新生「オリックス銀行」としてスタート

当社は、前期末に預金残高が1兆円を突破したことを機に、幅広いお客さまに当社を身近に感じていただきたいと考え、2011年10月1日付でオリックス信託銀行から「オリックス銀行」に社名を変更いたしました。

また、社名変更後の新商品第一弾として、2012年3月にはカードローンの発売を予定しています。

今後も、“しなやかな発想”で、常にお客さまの目線に立って考え、従来の銀行の枠にとらわれないサービスにチャレンジしていきます。新生「オリックス銀行」を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2011年12月

## オリックス銀行の特徴

### 特徴1

#### 「フルラインアップ型」ではなく、「特化型」の銀行

「インフラコストを可能な限り抑えて、より魅力的な金融商品・サービスを提供する」というコンセプトのもと、ビジネスを展開しています。メガバンクや地方銀行のように総合的なサービスを提供するのではなく、得意分野に特化し、強みのある分野の商品・サービスを充実させ、お客さまのニーズにお応えしています。

### 特徴2

#### 現金の入出金インフラを持たない、無店舗型の銀行

銀行は一般的には、店舗やATMネットワーク網などのインフラの維持に莫大な投資をし、ランニングコストをかけています。私どもオリックス銀行には、預金や振り込みなどの手続きを窓口で承るような店舗やATMネットワーク網はございません。また、キャッシュカードも発行しておりません。そのため、お客さまにはご不便をおかけすることもあります。代わりに魅力的な金融商品のご提供や、お客さまへのサービスの充実に努めています。

### 特徴3

#### 非対面取引の利便性とface to faceの対面取引による安心感 商品・サービスの特性に合わせて、異なる取引方法をご提供する銀行

当社の預金・無担保ローンは、インターネットや電話を活用して、お申し込みからご契約まで来店が必要ない非対面取引を中心としています。そのため、全国どこからでもご利用いただけます。また、インターネット取引なら、お客さまのお好きなお時間に、ご利用いただくことが可能です。一方、住宅ローン・法人融資・信託業務は、営業担当者が、お客さまと直接顔を合わせて、じっくりとお話を伺い、お客さま、お一人おひとりに合った、最適なソリューションをご提供いたします。

### オリックス銀行 企業スローガン

ニッポンの銀行に、しなやかな発想を。

対面のお取り引き  
(face to face)

営業担当者が、お客さまと直接、顔を合わせてお話を伺い、最適なソリューションを提供いたします。

法人融資・信託

経営課題に応える  
ソリューションを提供

住宅ローン

ライフプランに合ったオーダーメイド  
型の住宅ローンを提供

非対面のお取り引き  
(インターネットなど)

インターネットや電話を活用し、お客さまにご来店いただくことなく、お取り引きが完了します。

預金

サブ口座としてご利用目的に応じた  
銀行の使い分けを提案

無担保ローン

電話等による相談重視でライフ  
ステージに応じたローンを提供



## オリックス信託銀行は、「オリックス銀行」へ社名を変更いたしました

2011年10月1日、当社はオリックス信託銀行から、「オリックス銀行」へ社名を変更いたしました。

オリックス銀行は、1993年に設立された山一信託銀行を前身としています。1998年にオリックス株式会社が同社の株式を100%取得して「オリックス信託銀行」として再出発いたしました。

業容を拡大する中、当社のサービスは個人のお客様さま向けの定期預金やローンなど、銀行業務が

大きな割合を占めるようになりました。

そこで、2011年3月末に預金残高が1兆円を突破したことを機に、業務実態に近いわかりやすい名前に変更し、幅広いお客さまに当社を身近に感じていただきたいと考え、社名を「オリックス銀行」に変更いたしました。これからも、お客さまのより身近な存在として、“しなやかな発想”で、ニーズにお応えしてまいります。



オリックス銀行受付



オリックス銀行本店

## イチロー選手と広告出演契約を締結(オリックスグループ)

2011年10月1日より、イチロー選手がオリックスグループの広告に出演することになりました。スピード感溢れ絶えずチャレンジを続けるイチロー選手のイメージが、「ほかにはないアンサーを。」というブランドスローガンを掲げ、グローバルな市場で新しい価値の創造に挑戦し続けるオリックスグループのイメージに、合致しているためです。また、1992年から2000年までオリックス・ブルーウェーブ(現オリックス・バファローズ)に

在籍していたという縁もあり、イチロー選手から広告出演の快諾をいただきました。

現在、「CHALLENGE with ORIX.」、「CHALLENGE with ICHIRO.」というキャッチフレーズとともに、グループのさまざまな広告にイチロー選手が登場しています。

オリックス銀行でも、2011年10月1日より、社名変更などの新聞広告やウェブサイト、会社案内にイチロー選手が登場しています。



オリックス銀行ウェブサイト



社名変更の新聞広告



## 2012年3月、カードローンが発売開始

社名変更後の新商品第一弾として、2012年3月よりカードローンの取り扱いを開始いたします。

従来の銀行のカードローンのような金利から、消費者金融会社と同水準の金利まで、収入や信用力に合わせた金利と融資枠で幅広いお客さまにローンを提供いたします。

現在、2012年3月の発売開始に向けて、お客さまに便利で安心してご利用いただける銀行カードローンを目指し、検討を重ねています。

今後も、オリックス銀行の強みである「柔軟性」を生かして、常にお客さまの目線に立って考え、“しなやかな発想”で、従来の銀行の枠にとらわれないサービスにチャレンジしていきます。

### お客さまへのお願い

#### お振り込み時の受取銀行名について

オリックス銀行へご資金をお振り込みいただく場合、新社名である「オリックスギンコウ」を受取銀行名として指定いただけますようお願いいたします。

お客さまが、お取り引きされている金融機関によっては、「オリックスギンコウ」を指定できない場合がございます。受取銀行名の指定方法は、各金融機関のシステムにより

異なります。

大変お手数をおかけいたしますが、「オリックスギンコウ」を指定できない場合は、お客さまがお取り引きされている金融機関にお問い合わせください。

その他、ご不明な点がございましたら、P.11-12に記載しております、各商品のお問い合わせ先までご連絡ください。

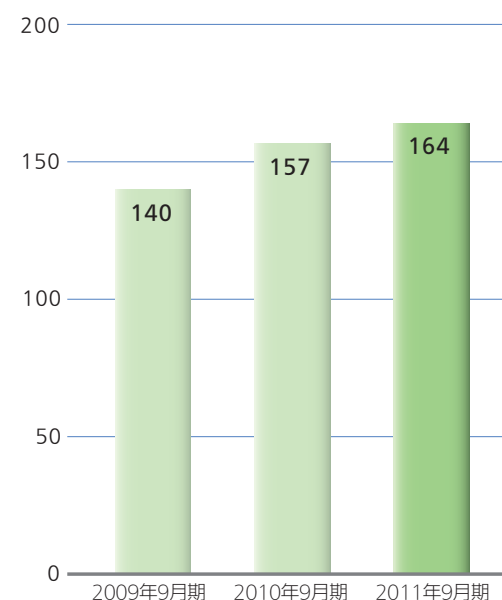
## Q & A 業績ハイライトについてお答えします

### Q.1 2012年3月期中間期(2011年9月期)の業績はどうでしたか？

**A** 住宅ローンや法人向け融資の推進などによる貸出金残高の伸長に伴い、資金運用収益が増加し、経常収益は164億円(前年同期比6億円増加)となりました。一方、貸倒引当金繰入額が大幅に減少した結果、経常費用は104億円(同16億円減少)となりました。この結果、経常利益は60億円(同23億円増加)、中間純利益は35億円(同13億円増加)となりました。

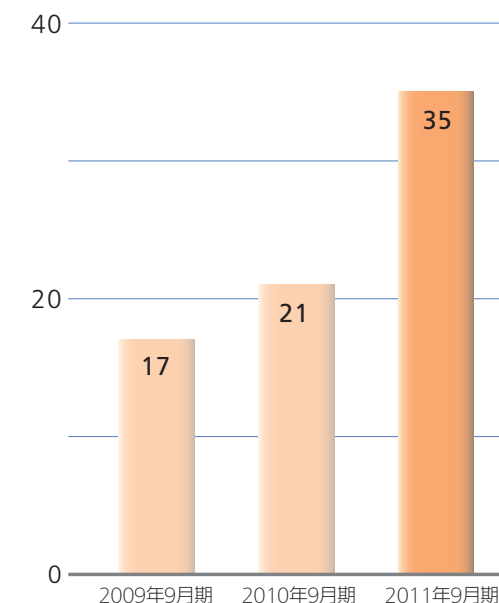
経常収益(売上高)の推移

(単位:億円)



中間純利益の推移

(単位:億円)



## Q.2 預金と貸出金の状況はどうなっていますか？

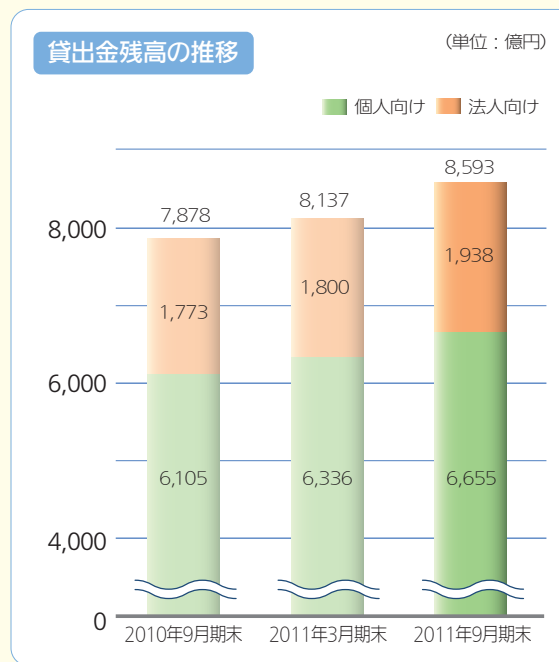
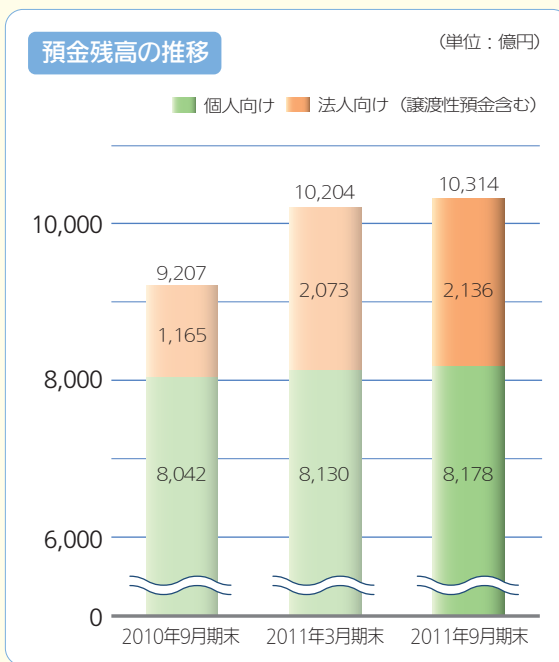
### A 預金の状況

個人向けインターネット取引専用定期預金「eダイレクト預金」や法人向け預金が順調に増加したことにより、中間期末残高は1兆314億円(前期末比109億円増加)となりました。

注) 預金残高には譲渡性預金を含みます。

### A 貸出金の状況

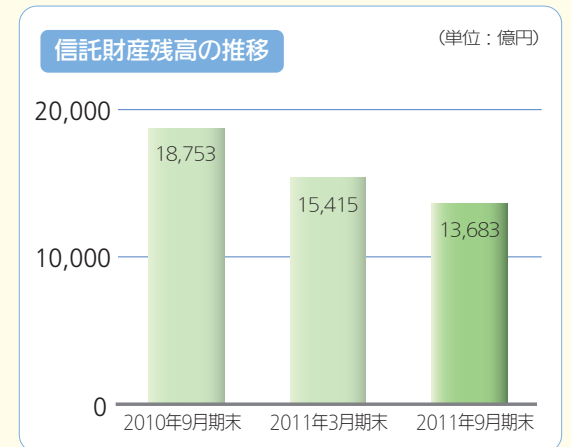
住宅ローンや法人向け融資が順調に伸び、中間期末残高は8,593億円(前期末比456億円増加)となりました。



## Q.3 信託業務の状況はどうなっていますか？

### A

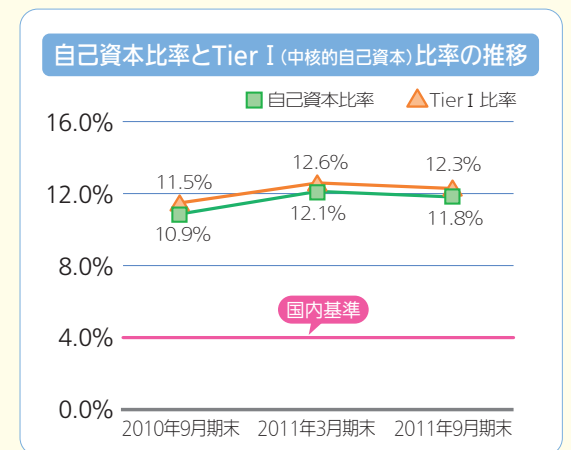
国内の流動化市場の低迷により、新規受託が伸び悩む中、信託財産の中間期末残高は1兆3,683億円(前期末比1,731億円減少)となりました。



## Q.4 財務の健全性はどのようになっていますか？

### A

財務の健全性を示す指標のひとつである自己資本比率は、2011年9月期末で11.8%となり、国内で業務を営む金融機関の基準(国内基準)の4.0%を大幅に上回る水準を維持しています。

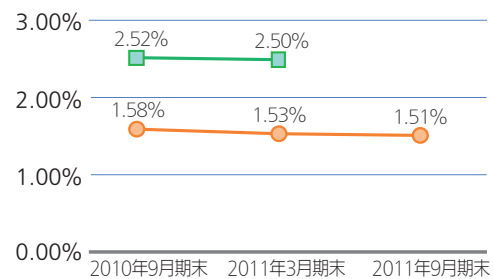


## Q.5 不良債権の状況はどうなっていますか？

**A** 不良債権比率(リスク管理債権比率※)は、2011年9月期末で1.51%となり、引き続き低水準で推移しています。

※「リスク管理債権比率」とは、貸出金総額に対する銀行法に基づくリスク管理債権額の比率です。

不良債権比率の推移 ■ 全国銀行平均 ● 当社

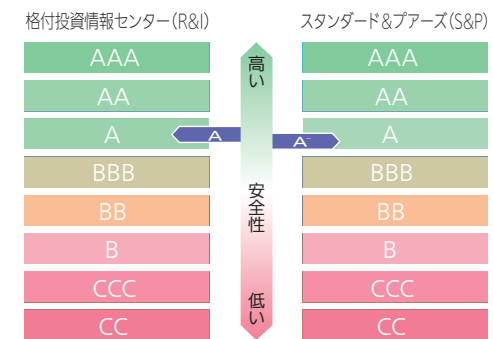


全国銀行平均は、全国銀行協会発行「全国銀行財務諸表分析」による平均値です。

## Q.6 格付けを教えてください。

**A** 長期格付けについて、格付投資情報センター(R&I)より「A」、スタンダード&プアーズ(S&P)より「A」の格付けを取得しています。

長期格付け



## 財務諸表(監査対象外)

中間貸借対照表 (2011年9月30日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	9,035	預金	919,140
コールローン	38,000	譲渡性預金	112,300
買入金銭債権	51,961	借入金	52,270
有価証券	253,602	信託勘定借	919
貸出金	859,393	その他負債	19,922
その他資産	3,175	賞与引当金	236
有形固定資産	4,821	退職給付引当金	2
無形固定資産	2,357	役員退職慰労引当金	0
繰延税金資産	2,749	支払承諾	1,450
支払承諾見返	1,450	<b>負債の部合計</b>	<b>1,106,242</b>
貸倒引当金	△ 7,396	<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	45,000
		資本剰余金	17,803
		利益剰余金	48,196
		株主資本合計	111,000
		その他有価証券評価差額金	1,906
		評価・換算差額等合計	1,906
		<b>純資産の部合計</b>	<b>112,907</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>1,219,149</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,219,149</b>

信託財産残高表 (2011年9月30日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
貸出金	148,223	金銭信託以外の金銭の信託	254,780
有価証券	56,658	有価証券の信託	74,021
信託受益権	194,799	金銭債権の信託	4,894
受託有価証券	78,572	包括信託	1,034,694
金銭債権	617,162		
有形固定資産	150,422		
その他債権	1,577		
銀行勘定貸	919		
現金預け金	120,055		
<b>資産合計</b>	<b>1,368,391</b>	<b>負債合計</b>	<b>1,368,391</b>

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間損益計算書 (2011年4月1日~2011年9月30日) (単位:百万円)

科目	金額
経常収益	16,439
信託報酬	469
資金運用収益	13,624
役員取引等収益	810
その他業務収益	301
その他経常収益	1,233
<b>経常費用</b>	<b>10,432</b>
資金調達費用	3,547
役員取引等費用	1,911
その他業務費用	12
営業経費	4,636
その他経常費用	324
<b>経常利益</b>	<b>6,007</b>
特別損失	6
<b>税引前中間純利益</b>	<b>6,001</b>
法人税、住民税及び事業税	2,377
法人税等調整額	68
<b>法人税等合計</b>	<b>2,445</b>
<b>中間純利益</b>	<b>3,556</b>

# 主要業務のご紹介

## 個人部門

特定分野に強みを発揮する銀行として、お客様のニーズにマッチした特色のある商品・サービスを提供しています。

預金商品については、口座への入出金や振り込みなどの手続き窓口となる店舗を持たず、シンプルな商品に特化することで実現した、高水準な金利の円定期預金を提供しています。

ローン商品については、お客さま一人ひとりのライフプランに沿ったオーダーメイド型の住宅ローン\*を提供しています。また、複数の無担保ローンを集約し、計画的にご返済をしていただくための無担保借りかえローンや教育ローン、多目的のローンを提供しています。

(※本誌では、不動産投資ローン・住宅ローンを総称して「住宅ローン」と表現しています。)

### 主な個人向け預金・ローン商品

	商品名	お問い合わせ先
預金	eダイレクト預金	<b>eダイレクト預金デスク</b> ☎0120-145-094 (9:00～18:00 土日祝および12/31～1/3休) ※パソコン操作にかかるテクニカルサポートおよびお客様カードの紛失・盗難のご連絡は、土日祝も受け付けしております。(1/1のみ休)
	ダイレクト預金	<b>ダイレクト預金デスク - お手続きに関するお問い合わせ -</b> ☎0120-890-694 (9:00～17:00 土日祝および12/31～1/3休) <b>資料請求</b> ☎0120-094-089 (9:00～18:00 1/1のみ休) <b>預金金利情報ダイヤル</b> ☎0120-094-860 (24時間自動音声)
不動産投資ローン	アパートローン	<b>住宅ローンプラザ</b> ☎0120-094-256 (9:00～17:20 土日祝および12/31～1/3休)
	投資用セカンドハウスローン	
住宅ローン	住宅ローン	
	セカンドハウスローン	
無担保ローン	借りかえローン「バンクプレミア」	<b>ローンデスク</b> ☎0120-552-189 (9:00～18:00 土日祝および12/31～1/3休)
	教育ローン・多目的ローン	



## 法人部門

法人のお客さまがお持ちの資金調達・運用や取引銀行拡大などの幅広いニーズにきめ細かくお応えしています。

東京・大阪・福岡の営業拠点を中心に、運転資金や設備資金など、さまざまな資金調達ニーズにお応えするオーダーメイド型のファイナンスを

提供しています。

また、資金運用をされているお客さまに対して、インターネット取引専用預金「法人eダイレクト預金」を中心に、高水準な金利の預金商品を提供しています。

### 法人向け預金商品

	商品名	お問い合わせ先
預金	法人eダイレクト預金	<b>eダイレクト預金デスク</b> ☎0120-145-094 (9:00～18:00 土日祝および12/31～1/3休) ※パソコン操作にかかるテクニカルサポートおよびお客様カードの紛失・盗難のご連絡は、土日祝も受け付けしております。(1/1のみ休)
	一般大口定期預金	<b>資金デスク</b> 03-6722-3640 (9:00～17:00 土日祝および12/31～1/3休)
	譲渡性預金	

## 信託部門

法人のお客さまに対し、主として金銭債権や不動産の流動化などの質の高い信託サービスを提供しています。特に金銭債権信託はオリックス銀行の信託財産残高の7割程度を占める主力サービスです。

お客さまが有する金銭債権や不動産の信託により発行された信託受益権を投資家に販売し

て資金調達を図るという流動化スキームの一翼を担うことで、お客さまの資金調達をサポートしています。

また、信託受益権売買等業務として、信託受益権の私募の取り扱いを行い、投資家の資金運用ニーズにもお応えしています。

## オリックスグループの社会貢献活動

オリックスグループは、事業活動のみでは貢献できない分野へ継続的な支援を行っています。社会的ハンディキャップのある人たちや将来を担う子ども・青少年の健全な育成への支援、音楽・文化芸術、スポーツ振興、環境保全、国際協力などの分野への支援活動を、公益財団法人オリックス財団やオリックス・バファローズなどを通じて積極的に取り組んでいます。

### 東日本大震災の被災地に福祉車両・一般車両を寄贈

オリックス財団では、オリックスグループ役職員から募った義援金およびオリックス財団の資金をもとに、特に被害の大きかった宮城県、岩手県沿岸部の障がい者施設、高齢者介護施設などに対して福祉車両19台、一般車両16台、合計35台を寄贈しました。2011年11月18日には、仙台市福祉プラザで、仙台市と名取市の施設合同で、施設職員や利用者など約40名が参列する中、寄贈式を行いました。寄贈した車両は、施設利用者の送迎などにご活用いただいています。



車両寄贈の様子



寄贈した福祉車両

### 新日本フィルハーモニー交響楽団の被災地ミニコンサートを支援

オリックス財団では、新日本フィルハーモニー交響楽団と連携し、仙台市内の被害が大きかった地域の病院や市民センターにて、ミニコンサートを開催しています。2011年11月18日、19日には、仙台市立病院と八本松市民センター、七郷市民センターで、第1回目のコンサートを開催し、多くの方にご来場いただきました。

音楽を通じて、被災地の皆さまに安らぎのひとときをお届けできるよう、順次、開催エリアを拡大していく予定です。



ミニコンサートの様子

## 会社概要

(2011年10月31日現在)

商号	オリックス銀行株式会社 (ORIX Bank Corporation)
本店所在地	東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル 〒105-0014
代表取締役社長	潮 明夫
設立	1993年8月23日
資本金	450億円
株主	オリックス株式会社(100%)
従業員数	497名

### ウェブサイトのご案内

オリックス銀行のウェブサイトでは、最新の金利情報や各種キャンペーン情報、個人情報の取り扱い(プライバシーポリシー)やセキュリティに関する情報、決算情報などをご覧いただけます。また、各種商品・サービスのお申し込みやお取り引きを行うことができます。ぜひ、ご活用ください。



オリックス銀行ウェブサイト <http://www.orixbank.co.jp/>